

令和8年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	経営管理演習Ⅰ・Ⅱ		担当教員	八木 孝幸		
	英語授業科目名	Seminar on Business Management TheoryⅠ,Ⅱ		単 位	各4	学 期	通年
対象年次	1・2年次	クラス指定		他との関連			
履修条件	経営管理特論A・Bを同時に履修すること。						
テーマ・副題	経営管理に関する諸理論の研究						
授業の教育目的・目標	経営管理に関する理論の更なる研究とそれを基にした院生自身による研究の完成。						
授業の理解度の達成目標	企業の経営管理について理解を更に深めた上で院生自身により研究を行ってもらい、その成果として2年次終了までには修士論文を書き上げてもらう予定である。						
授業キーワード	「授業展開」の欄を参照のこと。						
授業の内容	基本的には、『経営管理特論A・B』で十分にレクチャーすることができなかった「経営管理論」について、研究を行う予定である。						
授業の方法	各回ともゼミ生代表によるテキストの内容に関する報告と、その内容を基にした議論を予定している。またゼミ時間の後半は、2年生による修士論文の内容発表を予定している。						
授業展開	(1年次) 〈前期〉 1.前期イントロダクション/2.経営管理の意義/3.米国における巨大大業/4.科学的管理論/5.管理過程論/6.人間関係論/7.新・人間関係論/8.組織論的管理論/9.組織文化論/10.組織の経営環境への適応/11.意思決定論/12.経営戦略論/13.人的資源管理と組織/14.人的資源管理制度/15.前期・総まとめ (2年次) ：修士論文のテーマ設定と内容の指導			(1年次) 〈後期〉 16.後期イントロダクション/17.経営管理と企業統治/18.社会と組織/19.組織の社会性/20.モチベーション論/21.リーダーシップ論/22.組織構造論/23.企業戦略論/24.競争戦略論/25.静脈企業経営/26.組織変革/27.営利組織における統治/28.非営利組織における統治/29.多様な行動主体の中での企業経営/30.後期・総まとめ (2年次) ：修士論文の作成指導			
	成績評価方法						
成績評価方法	レポート等の評価（70%）及び講義への取り組み姿勢（30%）によって総合的に評価する。						
成績評価基準	総合点が80点以上をA、79～70点をB、69～60点をC、それ以下をDとする。なお、無断欠席が1/3以上となった者はE評価とする。						
テキスト	【前期】 中原翔『経営管理論・講義草稿』千倉書房、令和5（2023）年。 【後期】 吉村典久『多様な組織から見る経営管理論』千倉書房、令和5（2023）年。						
参考図書	適宜、指示する予定である。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	「講義展開」を参考に、次回演習までにテキストを読んで2時間以上の予習をしておくことが望ましい。また、事前に指名されたゼミ生には、テキストの内容についてレポートを行ってもらう予定なので、指名された者は準備（レジュメ等の資料作成）が必要となる。						
学生へのメッセージ	院生である以上、多くの専門書に目を通し自身の専門性を高めることが必須である。						
オフィスアワー	担当講義多数につき、院生による質問・相談はEメールにて随時受け付ける。						
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (代)	メールアドレス	online-takayuki@sc.jobu.ac.jp			
人数制限	特になし。						